

みんないっしょに避難

倉岳町保中高合同津波避難訓練

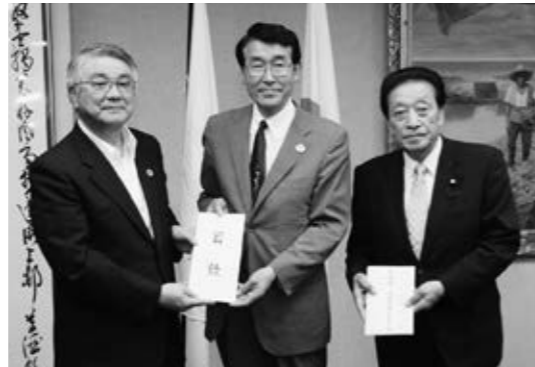


◀避難する園児、生徒たち

5月20日、倉岳保育園と倉岳中学校、天草高校倉岳校が合同津波避難訓練を行い、229人が参加しました。隣接する3施設の連携を深めることや、安全な避難方法の学習、防災意識を高めることを目的に実施しており、今年で2回目。八代海で地震が発生し、津波警報が発令されたとの想定で実施。中高生が園児の手を引くなど協力して、海拔約30mの天草高校倉岳校グラウンドに避難していました。

熊本地震からの復興・復旧に!!

北海道浦河町から義援金贈呈



◀目録を手に右から佐々木議長・池田町長・中村市長

本市と友好交流都市提携をしている北海道浦河町から熊本地震被害からの復興・復旧の支援にと義援金が送られました。5月29日市役所で同町の池田拓町長から目録が、佐々木孝雄町議会議員から21万円が中村市長に手渡されました。中村市長は「被災地支援に役立てます」とお礼を述べました。義援金は5月31日まで同町で募集され、河浦まちづくり協議会へ2,004,173円が送られました。今後、県内の被災地へ送られる予定です。

次の時代を担う子どもたちが活躍

天草市合併10周年記念式典

5月29日、天草市民センターで、天草市合併10周年記念式典が開催されました。中村市長は「人が輝き活力あふれる日本の宝島をつくるため、次の一步を強く踏みだしたい」とあいさつ。このほか市政への功労者へ表彰状の授与や、本渡中学校吹奏楽団の演奏、牛深高校郷土芸能部の牛深ハイヤ踊りが披露されました。また、司会や受付などのスタッフを市内の小中高生のボランティア約200人が担当し、式典に笑顔を添えました。



▲スタッフとして活躍した子どもたち

▶本渡中学校吹奏楽団の演奏



◀牛深ハイヤ踊りを披露する牛深高校郷土芸能部



▶功労者表彰を受ける受賞者

227人の子ども民生委員が誕生

市社会福祉協議会が委嘱状交付



▲本町小学校で委嘱状を受け取る児童

市社会福祉協議会が、本渡東・本町・倉岳・天草小学校の児童227人に「子ども民生委員」を委嘱しました。みずから行動できる児童の育成などを目的に実施しており、今年で2回目。5月26日には、本町小学校で委嘱状の交付式が行われ、全児童82人による信条朗読の後、6年生鬼塚輝君が「感謝の心を地域に届け交流を深めたい」とあいさつしました。

正確な動作を競う

県消防協会天草市支部消防操法大会



▲大会のようす

6月5日、楠浦町の錦島グラウンドで「第6回熊本県消防協会天草市支部消防操法大会」が開催されました。市内10方面隊から1チーム5人が出場。操作開始の合図からホースを3本伸ばし、小型動力ポンプを用的にめがけ放水。的が倒れるまでのタイムや正確な動作などを競いました。

団体の競技結果は、優勝・牛深方面隊、準優勝・河浦方面隊、3位・御所浦方面隊でした。

ホテルを見て楽しんでね!

五和小学校ホテル便



▲天草空港を出発するホテルと小学生

5月26日、五和小学校の児童6人が、地元で捕まえたホテル約200匹を、福岡市の屋形原特別支援学校と国立病院機構福岡病院の子どもたちに届けました。天草エアラインを利用して、五和小学校と城河原地域づくり振興会が、福岡の病院に入院している子どもたちに元気になってもらおうと毎年実施しているもの。児童らは、福岡の子どもたちとゲームで交流し、ホテルは病院内の観賞用の小屋に放されました。

Ama-Spoが誕生

一般社団法人天草市体育協会創立セレモニー



▶愛称を考案した土佐さん(写真右)

◀Ama-Spoのホームページはこちら



6月3日、ホテル・アレグリアガーデンズ天草で、一般社団法人天草市体育協会の設立セレモニーが開催されました。同協会は、平成18年の天草市誕生時に設立され、今年4月に一般社団法人として新たにスタート。福岡周孝会長は「スポーツを通じた人材育成や交流を充実し、県内に元気を発信したい」とあいさつ。全国から204件の応募があった愛称に土佐太志さん(久玉町)の「Ama-Spo」が選ばれ、賞金と花束が渡されました。